



智恵の 種 子

▲婦人の毛髪(其二) 婦人の毛髪は男子と異り殊に日本婦人の如きは従來の習慣上止むなきにせよ毛髪を頗る苛酷に取扱ふものにて從て發育を妨ぐる事は尋常ならず偶々婦人は巳の日身を洗ふと稱し洗髪は行ひ居れど此洗髪に使用すべき材料は抑も何んぞ大抵布若くは鹽純粉を用ゆるにて之が實際に効を奏し居るか否かは疑問なり疑問にのみ止まらず素人眼に表面上は毛髪の生質にて黒くも赤くも洗淨せられし如く見ゆるも眞底より結髪の際使用せる油氣を取除け去られず夫が爲に發育を妨げ抜け毛を生ずる等の憂ひありて婦人の最も大切とすべき毛髪を遂には損するに至るなり

▲婦人の毛髪(其二) 芝櫻田本郷町なる大場理髮店主に就き毛髪の保存法を聞くに由來日本婦人と外國婦人との生活狀態に於いて相違の點あれば止むを得ざれど大體外國婦人は平素の注意深く夜は髪を解いて臥し朝は夫れをブラシにて潔むる事を努め二週間に一度位は必ず洗ふ事とし又多くは糸を以て結ばず可成ピンにて止めて毛髪の發育を助け斯くして抜毛を防ぎ居れるが第一に抜毛を防がんとするには洗髪後毛髪を小さき燭燵の火を以てやき毛髪を細官の出血を止むれば抜毛の怖れなし、洗髪に材料には玉子の白味を精製せるクリームを用ひ洗髪と同時に乾かし終り之れに純粹の椿油を毛髪根元の部分丈けによくもみ込み血を充分に通すべく斯くせば發育は無論のこと抜け毛の怖れを斷ち發育と共に毛髪の

つやをも増すことは實驗上争ふべからずと昨今の婦人界には盛んに此方法を實行し居れり

店頭の果實

多數の黴菌が附着して居る食べる前には水で洗へ

▲學者の調査 水菓子屋の店頭に陳列されてある果實には恐るべき多數の黴菌が附着して居ます、其黴菌の中には種々の異なる者があつて時々虎列拉や、バスターや肺病菌等が入つて居ないとは限りませぬ、西洋では近年虎列拉が流行し露國あたりが最も盛んで南方の歐羅巴に漸々傳染して行きますので西洋人は非常に恐ろしがり生で食べる水菓子の取扱に就いても最も深く注意して居ます、が近頃佛國のフイラシエー博士、サルトリ博士二人が政府の命を以て調査に従事したる結果を見ますと實に下の如くです

▲三分三厘四方に五十七萬五千菌 兩博士は第一に極く往來の劇しい通りで道幅凡そ二十三尺位の所の店頭にある葡萄を午後三時に買つて來て検査しました處其結果三分三厘四方の葡萄の表面に五十七萬五千と云ふ黴菌が付いて居るのを發見しました、第二の試験として路幅九十尺ある大通の人通り多い所の立派な大店から午後二時に買取つた葡萄には五萬八千の黴菌があり第三には大道の露店のもので、百八十萬の黴菌を見出したといふことです

▲黴菌の種類 第一の試験で見出しました中にはペニシリウム、グラウキウム、リゾプス、ニガリカンス等の他にスクワイロコク、フォゲネス、アウレウス、バクシルレンス、テルモ、バクテルス、スプラリス、ミクロコクス、カンザカンスの諸菌がありました、露店から買つた葡萄の黴菌中にはバクテルス、スプラリス、ミクロコクス、カンザカンス、スタフィロコク、フイオガネス、アウレウス、ペニシリウス、グラウキウム、リゾプス等があつてこの中には病毒的の者もあつたのです

▲洗淨の効 水菓子は洗つて食べるべきものです、二博士の調査は之を證してあります、第一の試験の際に一度洗つて見ましたら

黴菌は二十一萬に減り二度洗つたものには七千しか付いて居ませんでした、第三の露店のものも一度洗つたものには五萬一千に減り二度洗ひのものには一萬一千しかありませんでした、さて普通の水で洗つたわけでは之をにたやうに黴菌を殺してしまふ事が出来ませんから水菓子を食べるには洗淨して後にした方がよろしいでございます

裁縫の巧拙

學習院女學部教師 武田太郎吉氏談

總て何事に拘らず天晴れ成就せようとするには緻密なる性質と勤勉なる練習とが成功の第一根本となるのでいかに裁縫の専門學校に通つた處が或期限内に一定の方式を習つて行李に一杯の模型を取つた所が其人は裁縫が上手になつたと云ふ譯には参りませぬ、何故ならば之を練習するの暇がないからです、今日の裁縫専門學校は多く此弊があるやうです、さりとて又裁縫が一通り出来るやうになつたとして而かもその縫つたものが誠に美事の出来栄であるとしても之を仕立上げるに當つて一枚の綿入に一週間もかゝると云ふやうなことでは單に出来ないよりは勝ると云ふだけで決して一人前の専門家と云ふの出来ぬのみが他人に向つて裁縫が好く出来ますなど云ふとは許されませぬ、さてそれならば何う云ふ風に裁縫を學ぶのが一番便利であるかと云ふに、元より實物に就ての練習の大切なことは言ふまでもありませんがそれは二つ次の話として第一に大切なことは運針の熟練と云ふことです、専門學校出身の裁縫家の技術が丁稚辻込みの職人に劣ると云ふのは即ち此處に在るのです、學校では何分に長時間に制限があるので運針を練習して居る暇はありませぬから、何年も年季を入れて長い間運針ばかり稽古させられた人に結局は劣けることになるのです若しも此運針に充分熟して後方式を學び愈所を會得するものが出来れば我々の理想通り早くて而かも上手な名人になれると請合です、でありますから家庭に於て阿母さん達が娘御方に裁縫の御稽古の眞個

に始まる前に少し宛でも運針の御稽古なさせて置いて下されば、いざ身を入れて學ぶ時學ぶ人も樂なれば教へる教師も助かります、扱初學の人が運針のお稽古をしますには姿勢を正し兩方の脇を左右に同じに据ゑ木綿の布を二尺に切り二ツ折にして二分五厘位の縫代として左右の手は大抵五六寸間隔を置いて縫ふのです、初は曲つたりうねつたりしてなか／＼思ふやうに縫へませぬが扱ます遣つて居る中には針目も揃ひ眞直に縫へるやうになります、用針は浴衣にしても厚衣着にしても縫ふにもくくるにもシツケを掛けるにも同じ針を用ひます、即ち木綿は三の五繻は四ノ四で運針の稽古にも之を用ひさせて居ります、

雜錄

○新婦人の雜誌の發刊 神田なる同文館は近來婦人雜誌が日に墮落しつゝあるを憤慨し上品にして趣味あり實益ある婦人雜誌として「婦女界」と云へるを發刊したり。

○初號は三月一日の發行にして此號には特に大附録として閑院宮妃殿下御染筆の藤花の石版刷を添へ記事も殊に精選して斬新奇麗のものを取めたり尙ほ同誌の主催として善行慈善會なるものを設け廣く全國に亘り孝女、貞婦、並に内助の功著しき婦人の事蹟を募り當局者の審査を仰ぎて優等者十名にはシンガー裁縫機械井に蒔繪膳椀十人前を與ふる計畫なる由

○二個の新幼稚園 東京市内に於て注目す可き二個の新幼稚園生れんとしつゝあり。一は品川八ツ山なる森村市左衛門氏の邸内に同若夫人の經營せんとするものにして目下頻りに工事中なりと云ふ設備其他固より完全なるものにして理想の幼稚園たるものなりと云ふ。今一つはお伽俱樂部の主幹なる久留島武彦氏の新設する所にしては場所ば青山、穩田、今正に建物の工事中にて出來次第來五月より開園の由なり。而して是は専らお伽俱樂部の保育研究所たる可きものなりと云ふ。